

平成 30 年度丹波市丹（まごころ）の里創生総合戦略第 3 回改訂
新規・拡充施策等 説明資料

1. 現 状

(1) 人口 平成 31 年 1 月の総人口は、前年同月と比べ、753 人減少。年間出生数は 438 人となった。

年	人 口			
	世帯数	総数	男	女
H26	22,510	65,840	31,352	34,488
H27	22,555	65,203	31,054	34,149
H28	22,583	64,565	30,754	33,811
H29	22,675	63,812	30,387	33,425
H30	22,885	63,165	30,071	33,094
H31	23,017	62,412	29,751	32,661

(兵庫県推計人口 1 月 1 日現在より)

年	純増減	自然動態			社会動態		
		出生	死亡	増減	転入	転出	増減
H25	△759	509	904	△395	1,403	1,767	△364
H26	△695	495	912	△417	1,451	1,729	△278
H27	△683	457	849	△392	1,420	1,711	△291
H28	△753	469	903	△434	1,432	1,751	△319
H29	△647	441	852	△411	1,492	1,728	△236
H30	△753	438	854	△416	1,408	1,745	△337

(兵庫県統計課「兵庫県の人口の動き」より)
(H30 年は、「住民基本台帳人口異動」より)

(2) 雇用 有効求人倍率は、1.62 倍（平成 30 年 11 月）と 4 年連続 1 倍を超え、雇用情勢の改善が続く一方で企業の人手不足が生じている。

年度	有効求人倍率			1 人あたりの市(県・国)民所得		
	丹波市	兵庫県	全国	丹波市	兵庫県	全国
H25	0.77	0.79	0.97	2,316 千円	2,685 千円	2,938 千円
H26	0.96	0.91	1.11	2,343 千円	2,766 千円	2,981 千円
H27	1.12	1.01	1.23	2,375 千円	2,850 千円	3,071 千円
H28	1.23	1.17	1.39	-	2,878 千円	3,087 千円
H29	1.37	1.32	1.54	-	-	-
H30	1.62	1.47	1.63	-	-	-

(H25～H29 有効求人倍率は各年平均値、H30 は H30. 11 月) (国民経済計算年報より)

2. 総合戦略の改訂の実施

(1) それぞれの基本目標に掲げる事業について現状数値や KPI 等の確認を実施。

⇒ 【新規 2 事業】、【拡充 1 事業】、【統合 2 事業】【廃止 1 事業】
【KPI の見直し 35 事業】

新規

基本目標 1（魅力的なしごとを創造する）

現状・課題等

環境との調和を基本とした産業である農業は、農産物の生産だけではなく、景観や農村環境を健全に維持・保全することが求められている。また、食に対する消費者の関心が高まっている中、安心安全な農産物の生産が必要となっている。

丹波市立市島有機センターは、平成4年から稼動し、市島地域の畜産農家の畜産排出物を堆肥化し、耕畜連携を目指した施設であるが、排出物の受け入れや堆肥散布が市島地域に限定している。

事業名・事業内容等

【事業名】**新** 環境創造型農業の推進

市島有機センターの施設拡充 H31 予算額 1億1,756万7千円

堆肥を保管する施設（ストックヤード）を整備し、広域的な堆肥散布を実施することで多くの利用者に良質な堆肥を提供する。

また、排出物の受け入れの際にトラックスケール（軽量器）を導入し、処理手数料を見直す。

なお、その他経年劣化で故障の多い重機や広域散布に対応するため、あわせて堆肥散布車両等を購入する。



目標値（H31）

【目標値】

- ・堆肥散布利用件数
170件/年（H30） ⇒ 200件/年（H31） ※参考 H32：210件 H33：230件
- ・堆肥散布台数
710台/年（H30） ⇒ 850台/年（H31） ※参考 H32：900台 H33：950台

ストックヤード完成年度：31年度

※重機等整備により、H31年度より市島地域外への広域散布を行い、散布利用件数・台数を向上させる

拡充

基本目標 2 (交流人口を増やす)

現状・課題等

2020年NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放映を契機に、丹波市が明智光秀ゆかりの地であることをPRすることにより誘客を促進し、交流人口を増やす。

事業名・事業内容等

【事業名】**拡充** 観光インフラ整備事業

大河ドラマを活かした観光推進事業 H31 予算額 1,424万9千円
赤井(荻野)直正のイラストを使用した高速バスのフルラッピング広告やノベルティの配布等により市外からの誘客を図る。また、道の駅「丹波おばあちゃんの里」の情報コーナーを活用して「黒井城跡」「赤井(荻野)直正」など明智光秀ゆかりの名所や旧跡、人物、イベント情報を発信するとともに、市の観光PR映像の放映や観光パンフレット等の啓発物品を配置することにより、観光客の市内への周遊性を高める。



目標値 (H31)

【目標値】

- ・丹波おばあちゃんの里レジ通過客数
354,947人/年(H30) ⇒ 359,000人/年(H31) ※参考 H32: 376,000人 H33: 383,000人
 - ・丹波おばあちゃんの里売上高
315,869千円/年(H30) ⇒ 323,300千円/年(H31) ※参考 H32: 339,000千円 H33: 345,000千円
 - ・春日観光案内所窓口対応客数
28,000人/年(H30) ⇒ 31,500人/年(H31) ※参考 H32: 33,000人 H33: 33,600人
- ※大河ドラマ「麒麟がくる」放映 2020年1月～12月
放映後も情報コーナーを活用して観光誘客を図る

新規

基本目標 4（元気な地域をつくる）

現状・課題等

多様な市民ニーズに対応し、地域の特色を活かしたまちづくりを進めていくためには、外部との連携により、その不足しているものを補完する必要がある。市とともに地域づくりの担い手として大学と各専門分野での連携を積極的に図り、地域課題を解決することが必要となっている。

事業名・事業内容等

【事業名】新規 包括連携大学事業

包括連携協定大学活動支援事業（武庫川女子大学、福知山公立大学）H31 予算額 150 万円
丹波市をフィールドにした実践教育、丹波市の自然や資源を利用した教育研究等、地域活性化に取り組み、地域の課題解決に向けた取り組みを連携して進めて行く包括連携協定を締結している大学及び短期大学に対し、活動費用の一部を補助する。



目標値（H31）

【目標値】

- ・補助対象事業数
3 事業/年（H30）⇒ 3 事業（H31）
- ・包括連携協定大学活動支援補助金を活用し丹波市で活動した学生数
28 名/年（H30）⇒ 50 名/年（H31）

